

## 木村賞第12回授賞報告（2023年度）

藤田 政之\*

横断型基幹科学技術研究団体連合（以下、「横幹連合」）は、横断型科学技術の発展に寄与する優れた研究を顕彰したいとの第2代会長木村英紀氏のご篤志によりいただいたご寄付を基金とする木村賞を2012年度より設置し、横幹連合コンファレンスでの特に優れた研究発表を表彰している。2023年度は12月16日、17日に開催された第14回横幹連合コンファレンスでの発表論文に対して木村賞の選考を行い、1件の発表に木村賞を授与することとした。

本年度の具体的選考手順を以下に示す（木村賞授賞規定に基づく）。

- (1) 審査委員会の設置（2023年8月25日理事会）  
審査委員会の構成：藤田政之（審査委員長，学術・国際委員会管掌副会長）他，幹事，委員4名
- (2) コンファレンス予稿原稿に基づく事前一次審査（2023年11月13日～11月25日）：審査対象論文74件より21件の一次審査通過論文を選考
- (3) 事前二次審査（2023年11月25日～12月11日）：一次審査通過論文21件より6件の二次審査通過論文を選考
- (4) 二次審査通過論文のコンファレンスにおける発表時審査（2023年12月16日，17日）：6件の候補論文の評点順位付け
- (5) 審査委員会で理事会に推薦する1件の論文を選考（2023年12月26日）
- (6) 理事会において2023年度木村賞受賞者を選考（2024年2月21日）

2023年度木村賞の1件の受賞者，対象論文ならびに選考理由は以下の通りである。

なお，授賞式は2024年5月23日に開催される横幹連合定時総会において行い，受賞者から授賞論文について発表していただく予定である。

### 2023年度木村賞受賞者，対象論文ならびに選考理由

受賞者：横川 慎二（電気通信大学）

対象論文：横川 慎二（電気通信大学），石垣 陽（電気通信大学），喜多村 紘子（産業医科大学），齋藤 彰（宮城県結核予防会），

「感染症予防難易度の高い社会福祉施設の空気質管理」



選考理由：

本発表は，COVID-19などの感染症を予防する際に，その難易度の高い社会福祉施設として具体的に保育園を取り上げて綿密な調査を実施し，様々な手法を組み合わせさせて空気質管理の対策法を提案したものである。

「横幹性」の面では，感染症予防の難易度の高い社会福祉施設の空気質管理に関して，横断的な研究チームを構成し，多面的な調査を実施した上で，評価方法の提案と適用をはかっている。

「有用性」の面では，クラスター発生の分析から始まり，その成果から導き出された予防のための施設設備と人的マネジメントの両面での感染症対策を実験から社会還元まで行っている。

「将来性」の面では，様々な計測・シミュレーション手法を綿密に組み合わせて感染状況やクラスター発生の分析を実験的に検証しており，今後のさらなる展開が期待される。

以上の理由により，木村賞審査委員会は，本論文を第12回木村賞授賞に相応しく，横断型基幹科学技術の発展に資する優れた論文であると評価する。選考理由に記述した通り，選考した論文「感染症予防難易度の高い社会福祉施設の空気質管理」は，今後も想定される感染症のリスクに対して，その予防難易度の高い社会福祉施設の空気質管理の対策法に貢献が期待される社会的課題解決に向けたものであり，今後の益々の貢献を期待するものである。

\*横幹連合副会長，木村賞審査委員会委員長，金沢工業大学

Received: 13 February 2024.